令和6年市功労表彰 受章おめでとうございます

市功労表彰は、長年にわたり本市の公益と振興発展に尽くされた方を顕彰するものです。今年は4月23日に表彰式を行い、3人に特別功労章、22人に功労章を授与しました。

■問／総務課 TEL525−3701

■特別功労章

受章者（地区）	功績
菅野（かんの） 廣男（ひろお）（渡利）	商工観光自治
粕谷（かすや） 悦功（よしのり）（清水町）	議員
山岸（やまぎし） 清（きよし）（泉）	議員

▲受章者の皆さんと市長（最前列左端）、議長（最前列右端）

■功労章

受章者（地区）	功績	受章者（地区）	功績	受章者（地区）	功績	受章者（地区）	功績
加藤（かとう） 勝夫（かつお）（御山）	自治	渡辺（わたなべ） 千代（ちよ）（南町）	保健福祉	斎藤長三郎（さいとうちょうざぶろう）（小田）	防災	大宮（おおみや） 篤司（あつし）（飯坂町湯野）	農業委員
馬場（ばば） 豊（ゆたか）（南矢野目）	自治	髙久（たかく） 英昭（ひであき）（上浜町）	教育文化スポーツ	柴田（しばた） 徳男（とくお）（飯野町青木）	防災	宍戸（ししど） 薫（かおる）（土船）	農業委員
後藤（ごとう） 忠久（ただひさ）（中町）	商工観光	松田（まつだ） 義（よしのり）（宮代）	教育文化スポーツ	髙野（たかの） 一男（かずお）（飯野町大久保）	防災	芳賀（はが） 正寿（まさとし）（町庭坂）	農業委員
伊藤（いとう） 陽子（ようこ）（岡部）	保健福祉	阿部（あべ） 義之（よしゆき）（荒井）	防災	松川（まつかわ） 修治（しゅうじ）（大笹生）	防災	安田（やすだ） 善喜（ぜんき）（松川町）	農業委員
猪野登喜子（いのときこ）（野田町）	保健福祉	遠藤（えんどう） 光晴（みつはる）（松川町下川崎）	防災	宮島（みやじま） 俊幸（としゆき）（南中央一丁目）	防災		
三島（みしま） 博（ひろし）（西中央四丁目）	保健福祉	金子徳三郎（かねことくさぶろう）（成川）	防災	渡邉（わたなべ） 正（ただし）（笹木野）	防災		

※部門ごとの五十音順。（敬称略）

市立施設の役割や配置などを見直しました 市立幼稚園・保育所・認定こども園の再編成方針

■問／幼稚園・保育課 TEL597−6726

幼児教育・保育を取りまく現状と課題

- 市全体で教育・保育の質向上、休日保育や病児保育などの対応が必要
- 市立施設が老朽化。施設が狭く、スペースの不足で多様なニーズに対応できない
- 幼稚園児数が減少し、子どもたちの育ちに必要な「集団」がつくれない
- 現在は、女性就業率向上により保育ニーズが高いが、中長期的には幼児教育・保育の利用は減少

→

再編成の基本的な考え方

市立幼稚園・保育所・認定こども園の役割
- 私立を含め、市全体の保育の質を高める「拠点」
- 「拠点」として、休日保育や病児保育などを提供

全体再編方針（令和12年度の目指す姿）
- 市内を東西南北の4区域に分け、区域ごとに拠点施設を設置
- 老朽施設は統廃合し、再編整備するか民間施設へ機能移行
- 子どもたちの育ちに必要な「集団」を確保するため、市立幼稚園9園を統廃合

市立施設の再編方針　※下記以外の施設は当面運営を継続します。

拠点
- 東 ふくしま中央認定こども園 → 運営継続
- 西 森合幼稚園 － 整備予定 → 新 もりあい認定こども園（令和8年4月開園）
- 南 まつかわ幼稚園 － 整備予定 → 新 南部認定こども園　（時期・場所未定）
- 北 笹谷保育所、笹谷幼稚園、余目保育所、平野保育所 － 統合・再整備 → 新 北部認定こども園　（時期・場所未定）

民間へ機能移行
- 東浜保育所、渡利保育所、渡利幼稚園、杉妻保育所、杉妻幼稚園 → 私立認定こども園を整備し、機能を移す方向で検討（時期未定）

閉園
- 岡山幼稚園、庭塚幼稚園、佐倉幼稚園 → 令和6年度末に休園、令和7年度末に閉園
- いいざか幼稚園 → 令和8年度末に閉園する方向で検討

具体的な計画策定にあたっては、事前に施設を通じて保護者に周知するなど十分に配慮します。
また、民間への機能移行の方法などは、保護者など施設に関わる皆さんの思いを尊重し検討します。

◀詳しくは市ホームページをご覧ください。

臨時災害ラジオ放送　災害が発生した場合、市は、FMポコ（76.2MHz）を「臨時災害ラジオ放送局」として、避難所やライフラインなどに関する緊急情報をお知らせします。　●問／危機管理室TEL525−3793

電子図書館が利用しやすくなりました 図書貸出券発行のオンライン申請スタート

窓口でのみ受け付けをしていた図書貸出券発行の申請を、オンラインから行えるようになりました。これにより、窓口へ行くことなく、電子図書館を利用できるようになります。

■問／市立図書館 TEL531−6551

電子図書館の便利な3つのポイント

01 いつでも・どこでも
24時間利用可能

02 来館不要
期限が来たら自動返却

03 見やすい
スマートフォン・タブレットなどで読みやすい文字サイズで表示

図書貸出券の発行から電子図書館利用までの手順

STEP 1
マイナポータルから図書貸出券の発行申請
申請に必要な物：マイナンバーカード

▲オンライン申請案内

STEP 2
図書館での審査完了の連絡後、
図書貸出券の郵送料金244円（自己負担）をキャッシュレスで支払い
利用可能な決済サービス：PayPay、d払い、au PAY、クレジットカード

STEP 3
図書館が支払いを確認後、申請者宛てに図書貸出券を郵送
インターネットサービス利用に必要なパスワードも同封

STEP 4
図書貸出券が届いたら、市ホームページからインターネットサービス利用登録をして準備完了
書籍の予約・延長や電子図書館の利用ができます。

▲インターネットサービス案内

インターネットサービスとは

■サービス内容／パソコン・スマートフォンから図書の検索・予約・取り寄せ・貸出延長、電子図書館の利用
■利用方法／図書貸出券番号とパスワードで市ホームページからログイン

電子図書館の利用案内

■料金／無料
■対象／本市に在住・在勤・在学の方
■貸出冊数・期間／2点まで14日間
■予約上限冊数／2点（取り置き期間3日間）
■延長・期間
14日間（1回のみ）※次の予約が入っていないものに限る。

▲電子図書館ホームページ

蔵書数 約1万2千冊

シニアICTサポーター育成講座参加者募集

無料

デジタル活用に不慣れな高齢者が、困ったときに近くで相談できる「シニアICTサポーター」を育成する講座を開催します。サポーターに必要なスキルを身に付けて、地域で活躍してみませんか。

■問／デジタル推進課 TEL572−3943

■対象者／次の全てに当てはまる市内在住の方
❶概ね65歳以上で日常的にスマートフォンを使っている
❷スマートフォンの基本操作やLINEの活用ができる
❸スマートフォンの使い方を教えることに興味がある
❹講座に3日間出席できる
■とき／【第1回】7月1・4・9日
【第2回】7月3・5・11日
午後1時30分～3時30分
■ところ／市民会館　503号室
■定員／各回15人
■講座内容
①基礎知識（セキュリティー設定、キャッシュレス決済の利用、QRコードの読み取りなど）の習得
②相談サポートのポイント（接遇、専門用語の言い換え方、説明する際のテクニックなど）
③ロールプレーイングによる相談サポートの実践
■その他／シニアICTサポーターに登録後、各地区で自主的にスマートフォンの操作などを学ぶクラブの立ち上げへの協力や、市が実施する高齢者向けスマホ講座のサポーターとしてご協力いただきます。
■申し込み方法
各回初日の3日前までにオンライン予約で

▲オンライン予約

防災と災害情報メールマガジンをご利用ください
災害情報などをお知らせするメール配信サービスを行っています。メールアドレスを登録すると、情報を受け取ることができます。　●問／危機管理室TEL525−3793